

## JENESYS 2.0

## 韓国青年訪日研修団

訪問日程 平成27年1月14日(水)～1月23日(金)

## 1. プログラム概要

「JENESYS2.0」の一環として、在大韓民国日本国大使館、在釜山日本国総領事館、在済州日本国総領事館で選抜、派遣された韓国青年訪日研修団計109名が、去る1月14日から1月23日までの9泊10日の日程で研修を行いました(第1団団長:李鎮遠(イ・ジンウォン)ソウル市立大学国際関係学科教授、第2団団長 崔榮眞(チェ・ヨンジン)済州漢拏大学校ホテル調理科教授、第3団団長 魚秀禎(オ・スジョン)啓明大学校教育大学院助教授。)

「日本を感じる」という研修テーマの下、滞在中、東京都内、鹿児島県、熊本県(第3団のみ)、大阪府、奈良県で学校訪問や企業訪問、文化遺産見学を行ったほか、ホームステイや文化体験を通して、日頃から見聞きしている日本を実際に見て感じることで、より一層理解を深めていました。

## 2. 日程

1/14(水)

到着(成田国際空港)、研修に関するオリエンテーション

1/15(木)

文化体験(落語)、歓迎昼食会、外務省訪問、都内視察(浅草及び東京スカイツリータウンエリア)

1/16(金)

大学訪問(1団:亜細亜大学、2団:目白大学、3団:大東文化大学)

1/17(土)

鹿児島県へ移動、薩摩焼沈壽官窯及び元外相東郷茂徳記念館見学、ホームステイ対面式

1/18(日)

終日ホームステイ

1/19(月)

ホームステイから再集合・離村式、企業訪問(JX日鉱日石石油基地)、文化体験(和菓子作り)

1/20(火)

1,2団:大阪へ移動、文化体験(たこ焼き作り)、大阪市内視察

3団:熊本へ移動、熊本県立大学訪問

1/21(水)

大学訪問(1団:大阪市立大学、2団:関西大学)、

3団:熊本市内視察(熊本城、水前寺成趣園)、文化体験(木工絵付け体験)、大阪へ移動

1/22(木)

奈良へ移動、文化体験(握り寿司作り)、奈良の魅力に関するブリーフィング、日本人学生と東大寺見学(二月堂、大仏殿)、成果報告会

1/23(金)

帰国(関西国際空港)

3. 写真

	
(日本語) 1月15日 文化体験(落語)(中央区)	(日本語) 1月15日 外務省訪問(千代田区)
(母国語) 1월 15일 문화체험(라쿠고)(주오구)	(母国語) 1월 15일 외무성 방문(지요다구)
	
(日本語) 1月16日 1団大学訪問(亜細亜大学)(武蔵野市)	(日本語) 1月16日 1団大学訪問(亜細亜大学)(武蔵野市)
(母国語) 1월 16일 1단 대학교 방문(아시아 대학)(무사시노시)	(母国語) 1월 16일 1단 대학교 방문(아시아 대학)(무사시노시)
	
(日本語) 1月16日 2団大学訪問(目白大学)(新宿区)	(日本語) 1月16日 2団大学訪問(目白大学)(新宿区)
(母国語) 1월 16일 2단 대학교 방문	(母国語) 1월 16일 2단 대학교 방문

<p>(메지로대학) (신주쿠구)</p> 	<p>(메지로대학) (신주쿠구)</p> 
<p>(日本語) 1月16日 3団大学訪問(大東文化大学)(板橋区)</p>	<p>(日本語) 1月16日 3団大学訪問(大東文化大学)(板橋区)</p>
<p>(母国語) 1월 16일 3단 대학교 방문(다이토문화대학)(이타바시구)</p>	<p>(母国語) 1월 16일 3단 대학교 방문(다이토문화대학)(이타바시구)</p>
	
<p>(日本語) 1月17日 沈壽官窯訪問(鹿児島県日置市)</p>	<p>(日本語) 1月17日 沈壽官窯訪問(鹿児島県日置市)</p>
<p>(母国語) 1월 17일 심수관 도요지 방문(가고시마현 히오키시)</p>	<p>(母国語) 1월 17일 심수관 도요지 방문(가고시마현 히오키시)</p>
	
<p>(日本語) 1月17日 沈壽官窯訪問(鹿児島県日置市)</p>	<p>(日本語) 1月17~19日 ホームステイ(鹿児島県日置市・南さつま市)</p>

<p>(母国語) 1월 17일 심수관 도요지 방문 (가고시마현 히오키시)</p>	<p>(母国語) 1월 17~19일 홈스테이 (가고시마현 히오키시, 미나미사쓰마시)</p>
	
<p>(日本語) 1월 17~19일 홈스테이 (鹿児島県日置市・南さつま市)</p>	<p>(日本語) 1월 17~19일 홈스테이 (鹿児島県日置市・南さつま市)</p>
<p>(母国語) 1월 17~19일 홈스테이 (가고시마현 히오키시, 미나미사쓰마시)</p>	<p>(母国語) 1월 17~19일 홈스테이 (가고시마현 히오키시, 미나미사쓰마시)</p>
	
<p>(日本語) 1월 19일 企業訪問 (JX 日鉱日石石油基地) (鹿児島市)</p>	<p>(日本語) 1월 19일 企業訪問 (JX 日鉱日石石油基地) (鹿児島市)</p>
<p>(母国語) 1월 19일 기업방문 (JX 닛코넛 세키 석유기지)(가고시마시)</p>	<p>(母国語) 1월 19일 기업방문 (JX 닛코넛 세키 석유기지)(가고시마시)</p>
	
<p>(日本語) 1월 19일 企業訪問 (JX 日鉱日</p>	<p>(日本語) 1월 19일 文化体験 (和菓子作</p>

<p>石石油基地) (鹿児島市)</p>	<p>り) (鹿児島市)</p>
<p>(母国語) 1월 19일 기업방문 (JX 닛코닛 세키석유기지)(가고시마시)</p>	<p>(母国語) 1월 19일 문화체험 (일본전통과자 만들기) (가고시마시)</p>
	
<p>(日本語) 1月19日 文化体験 (和菓子作り) (鹿児島市)</p>	<p>(日本語) 1月20日 1,2団 文化体験 (たこ焼き作り) (大阪市)</p>
<p>(母国語) 1월 19일 문화체험 (일본전통과자 만들기) (가고시마시)</p>	<p>(母国語) 1월 20일 1,2단 문화체험 (다코야키 만들기)(오사카시)</p>
	
<p>(日本語) 1月20日 3団大学訪問 (熊本県立大学) (熊本市)</p>	<p>(日本語) 1月20日 3団大学訪問 (熊本県立大学) (熊本市)</p>
<p>(母国語) 1월 20일 3단 대학교 방문(구마모토현립대학) (구마모토시)</p>	<p>(母国語) 1월 20일 3단 대학교 방문(구마모토현립대학) (구마모토시)</p>
	
<p>(日本語) 1月21日 1団大学訪問 (大阪市)</p>	<p>(日本語) 1月21日 1団大学訪問 (大阪市)</p>

<p>立大学) (大阪市)                  (母国語) 1월 21일 1단 대학교 방문(오사카시립대학) (오사카시)</p>	<p>立大学) (通天閣見学) (大阪市)                  (母国語) 1월 21일 1단 대학교 방문(오사카시립대학) (츠텐가쿠건축) (오사카시)</p>
	
<p>(日本語) 1月 21日 2团大学訪問 (関西大学) (大阪府吹田市)                  (母国語) 1월 21일 2단 대학교 방문(간사이대학) (오사카부 스이타시)</p>	<p>(日本語) 1月 21日 2团大学訪問 (関西大学) (大阪府吹田市)                  (母国語) 1월 21일 2단 대학교 방문(간사이대학) (오사카부 스이타시)</p>
	
<p>(日本語) 1月 21日 3团 文化体験 (きじ馬作り) (熊本市)</p>	<p>(日本語) 1月 22日 文化体験 (寿司作り) (奈良市)</p>
<p>(母国語) 1월 21일 3단 문화체험(키지우마 만들기) (구마모토시)</p>	<p>(母国語) 1월 22일 문화체험(스시 만들기)(나라시)</p>
	
<p>(日本語) 1月 22日 文化体験 (寿司作り)</p>	<p>(日本語) 1月 22日 文化遺産見学 (東大)</p>

<p>(奈良市)</p>	<p>寺) (奈良市)</p>
<p>(母国語) 1 월 22 일 문화체험(스시 만들기)(나라시)</p>	<p>(母国語) 1 월 22 일 문화유산 견학(도다이지)(나라시)</p>
	
<p>(日本語) 1月22日 文化遺産見学(東大寺)(奈良市)</p>	<p>(日本語) 1月22日 成果報告会(奈良市)</p>
<p>(母国語) 1 월 22 일 문화유산 견학(도다이지)(나라시)</p>	<p>(母国語) 1 월 22 일 성과 보고회(나라시)</p>
	
<p>(日本語) 1月22日 成果報告会(奈良市)</p>	
<p>(母国語) 1 월 22 일 성과 보고회(나라시)</p>	

#### 4. 参加者の感想

##### ◆印象的だったこと

##### ○ホームステイに関して

- ・韓国語が全くできない 80 代のホストと心を通わす交流ができた。機会があればまたお会いしたい。
- ・都会ではなく地方でのホームステイだったので、さらに日本らしさを感じる事ができた。
- ・別れる時に、電車を追いかけながら別れの挨拶をしてくれたホストの温かさに感動した。
- ・言葉の不安があったが、本当の家族のように迎えてくれて不安が消えていた。
- ・日本人の日常を知る良い機会だった。
- ・年配のホストだったので最初は心配していたが、自分を温かく迎えてくれ、話が尽きないほど親しくなることができてよかった。
- ・実際の家庭文化を体験し、ホストといろいろな話をする中で、互いの国についてより深く知ることができたと思う。
- ・ホストが本当の家族のように接してくれて、別れの際には涙が止まらなかった。この経験は生涯忘れることはないだろう。
- ・客としてではなく、家族の一員として受け入れてもらえて、いい思い出が沢山できた。
- ・普段は食べられないような家庭料理を食べることが出来るなど、充実した時間だった。

##### ○学校訪問に関して

- ・韓国に興味を持っている学生が思った以上に多く、驚いたと同時に嬉しかった。
- ・日本の学生を通じて、最近の日本文化について知ることができた。
- ・討論や交流を通して親睦を深めることができた。
- ・日本ではどのような授業が受けられるのか、韓国に対してどう思っているのかなど、深い話ができた。
- ・同じ大学生と、文化交流や討論したことはよい経験となった。
- ・日本の学生の、自分の夢やしたいことを仕事にするという考え方が印象的だった。
- ・交流を通じて、今後も親しく付き合っていける友人ができたことがうれしかった。
- ・日本語があまりできない自分の言葉を、一生懸命に理解しようとしてくれた日本の学生の姿がうれしかった。
- ・積極的に交流しようとする学生たちの姿がとてもうれしかった。
- ・日本の教育制度について知ることが出来た。
- ・国や言語を超える、情を感じた。
- ・試験期間前にも関わらず、積極的に時間を作ってくれた学生たちに感謝したい。
- ・同じ年代の日本人と交流する中で、彼らの考え方や生活習慣などを、より詳しく知ることが出来た。人生におけるこのような貴重な出会いが、今後の日韓関係を改めるうえでとても役に立つと思うし、周りの人たちにも今回の研修を勧めていきたい。

##### ○伝統、文化、自然に関して

- ・個人旅行では難しい、落語、和菓子・たこ焼き・寿司作り、温泉などの文化体験ができ有意義だった。

- ・ホームステイ先で着物を着ることができて嬉しかった。
- ・たこ焼きや寿司作りなど、食べたことはあっても実際に作るのは初めてだったので楽しかった。
- ・「日韓の架け橋となるため、最善を尽くして落語に励む」という笑福亭銀瓶さんの言葉に感動した。
- ・落語のような伝統文化が現代にまで受け継がれ、また人々にも需要があるということに、とても驚くとともに、古いものと新しいものが共存している日本の文化がとても印象的だった。
- ・日本人でもなかなか体験できない落語を聞いたことが印象深かった。
- ・落語についてもっと詳しく知りたいと思った。
- ・落語を聞くだけでなく、落語について質問をすることができたのが、とても良かった。
- ・日本食は色とりどりに組み合わせられていて食材の持ち味を生かしていると感じた。
- ・食事の礼儀作法に慣れていなかったため失敗もあったが、日本文化を学んでいる立場としてはよい経験だった。
- ・砂蒸し風呂は、とても温かくて寝てしまいそうになった。他の人にも勧めたい。

#### ○人間性について

- ・店員のサービスが徹底していることに驚き、韓国も見習うべきだと感じた。
- ・日本人は礼儀正しく、親切で市民意識が高いと思った。
- ・日本人は情が薄いと聞いていたが、全く違っていた。
- ・日本人がオープンマインドでウィットに富んだ会話ができるということ知った。
- ・市民意識の高さと、互いを思いやる文化があると知った。
- ・道案内をしてくれたり、お勧めのメニューを教えてくれたり、親切な人が多かった。
- ・日本人には本音と建前があるという先入観は、誤りだと気付かされた。
- ・日本人は消極的、というのは先入観であり、むしろ韓国に関心のある日本人も多いことも分かった。
- ・神社のおみくじが無人で運営されているのを見て、日本人の持つ、他人を信頼する心を感じた。
- ・同じ日本でも、東京と大阪では人間性や地域のルールが違って面白かった。

#### ○その他

- ・日本に対し、もともと友好的な感情を持っていたが、今回の研修でさらに関心や好感を持てた。
- ・相手に関心を持ち努力すれば、言葉が違って心もコミュニケーションが取れるのだと感じた。
- ・日本に対し良い感情を持っていなかったが、今回の研修でイメージが良くなった。
- ・この研修をきっかけに、日本語、日本文化を学びたいと思った。
- ・道路がきれいなことと、少しぶつかっただけでも謝る姿が印象的だった。
- ・韓国のメディアが、日本人は韓国人が嫌いだと言っていたが、それは一部の人達で実際は興味を持っている人も多いということを知った。
- ・「日本人の友達を作る」目標が達成できてうれしかった。
- ・この研修に参加していなければ、残りの大学生活を何となく終え卒業していたと思うが、今回の研修のおかげで、卒業まで日本語を一生懸命勉強し、また日本に旅行に来るという目標ができた。
- ・今回の研修を通じて、マスコミの報道を鵜呑みにするのではなく、直接目で見て感じる事が今後の日韓関係の改善のためにも大切なのだと強く感じた。

- ・日本人と実際に接する中で、より日本について知りたいと思うようになった。またその中で感じた文化の違いを互いに理解しあうことが日韓関係の発展には大切なのだと感じた。
- ・初めての訪日が今回の研修であったことはとてもよかったと思う。
- ・東京には何度か行ったことはあったが、今回の研修で初めて地方を訪問して、ホームステイをすることができたのはよかった。
- ・田舎の自然豊かな風景がとても美しかった。
- ・このような交流事業を通じて、自分たちのような若い世代が交流し、努力すれば、今後の日韓関係はより改善されると思う。
- ・これまで日本に対して悪い感情を持つ人たちの影響を少なからず受けていたが、実際に学生との交流を通じて、先入観で物事を判断してはいけないのだと改めて感じた。
- ・JENESYS2.0をはじめとする日本政府がかかわる様々な交流事業について、SNSを通じて発信していくと同時に、日本語を専攻していない学生たちにもこうしたプログラムを勧めたいと思う。

◆自国の人に伝えたいこと

- ・日本人のサービス精神、親切さ、市民意識が高いこと。
- ・日本の伝統文化や食文化について伝えるためにフェイスブックやブログに載せる予定。
- ・日本の田舎の風景と自分たちとあまり変わらない日本の学生の姿。
- ・日本に偏見を持っている周囲の人たちに、自分が見て感じたことを伝え日韓交流に少しでも役に立ちたい。
- ・砂蒸し風呂を体験してみることを勧めたい。
- ・日本の文化や日本人の考えなど、今回学んだことを周囲に伝えたい。
- ・自分の足で歩き、自分の目で確認することの大切さを伝えたい。
- ・この研修をたくさんの人に教えてあげ、皆が日本を理解してくれたらいいと思う。
- ・落語の面白さ。
- ・日本人の親切さ、街の景観。
- ・日本人の気遣い、やさしさ
- ・日本人は礼儀正しい、と聞いてはいたが、実際に接する中で感じた日本人の相手に対する配慮は想像以上だった。
- ・今回知ることが出来た、日本人の持つ「情」について周囲の人に伝えたい。
- ・震災後の放射能の影響を心配する韓国人はいまだに多いが、そういう人たちにこそ日本は安全である、と伝えたい。